

北京2022冬季オリンピックに日本代表として参加する
「TEAM JAPAN」を“食”と“アミノ酸”を通じてサポート

おいしい和食と癒しの空間が好成績の原動力！
—食事と補食の栄養拠点「JOC G-Road Station」の画像提供—

味の素株式会社は、北京2022冬季オリンピック(以下、北京2022大会)にて、公益財団法人日本オリンピック委員会(以下JOC)が設置する「JOC G-Road Station」に協力し、「TEAM JAPAN」へ食事と補食を提供しました。

JOC G-Road Station

「JOC G-Road Station」(以下、G-Road Station)とは

競技直前の選手のためのコンディション維持を目的として、主食の白飯やだし茶漬け、主菜、副菜、具だくさん鍋や「クノール®」ブランドのスープ、さらには東京2020大会時に日本代表選手団に提供した「For ATHLETE」ギョーザなど、選手のエネルギー補給などにつながる和軽食を提供した栄養拠点。今大会はリオ2016大会、平昌2018冬季大会、東京2020大会に続き、4回目の実施となります。



1 渡部 暁斗選手 (ノルディック複合)



2 新濱 立也選手 (スピードスケート)



4 渡部 暁斗選手 (ノルディック複合)



6 新濱 立也選手 (スピードスケート)

※ 「JOC G-Road Station」に関して、帯同した「ビクトリープロジェクト®」メンバーへの取材を受け付けております。
※ 本資料に関するメディアでの掲載等について、必ず下記までお問い合わせいただきますようよろしくお願いいたします

＜本件に関するメディアからのお問い合わせ先＞
味の素「ビクトリープロジェクト」PR 事務局 (株式会社共同ピーアール内)
担当：三井 (080-8072-4457) ・伊藤 (080-5157-1205) ・奥平
TEL:03-6260-4857 MAIL: victoryproject-pr@kyodo-pr.co.jp



「TEAM JAPAN」のころとからだを元気にするために、日本から食料品、調理器具など**段ボール250箱分**を持ち込み、開設に向けて準備しました。



ルディック複合メダリストの渡部暁斗選手の競技直後の「G-Road Station」食事の様子を撮影した動画もご用意しております。

動画1



動画1 (同左)



動画2





20
森重 航選手
(スピードスケート)



21
樋口 新葉選手 (フィギュアスケート)
新濱 立也選手 (スピードスケート)
坂本 花織選手 (フィギュアスケート)



22
藤澤 五月選手 (カーリング)



23
吉田 知那美選手 (カーリング)



24
坂本 花織選手 (フィギュアスケート)



25
富田 せな選手 (スノーボード)
富田 るき選手 (スノーボード)



26
高木 那奈選手 (スピードスケート)



27
鈴木 世奈選手 (アイスホッケー)



28
高木 那奈選手 (スピードスケート)



29
坂本 花織選手 (フィギュアスケート)



30
谷地 宙選手、永井 秀昭選手
渡部 暁斗選手、山本 涼太選手
渡部 善斗選手 (ノルディック複合)



31
坂本 花織選手 (フィギュアスケート)
山下 栞選手、増原 海夕選手
小山 玲弥選手、山下光選手 (アイスホッケー)



32
川村 杏里選手 (モーグル)

※ 「JOC G-Road Station」に関して、帯同した「ビクトリープロジェクト®」メンバーへの取材を受け付けております。
※ 本資料に関するメディアでの掲載等について、必ず下記までお問い合わせいただきますようお願いいたします

＜本件に関するメディアからのお問い合わせ先＞
味の素「ビクトリープロジェクト®」PR 事務局 (株式会社共同ピーアール内)
担当：三井 (080-8072-4457) ・伊藤 (080-5157-1205) ・奥平
TEL:03-6260-4857 MAIL: victoryproject-pr@kyodo-pr.co.jp

<提供する食事・補食について>

- ポイント① **“アミノ酸のはたらき”を活用**
 - ・うま味のアミノ酸で「おいしく」
 - ・「カラダ」の源のアミノ酸でコンディショニング
- ポイント② **試合期に特化した戦略的な栄養サポート**
 - ・高糖質な「エネルギー補給メニュー」
 - ・リカバーのための高たんぱく・低脂質な「コンディショニングメニュー」
- ポイント③ **食事を毎日楽しめる工夫**
 - ・海外でも選手が食べ慣れている和食を中心に、日替わり5パターン
 - ・気分に合わせて自分好みの味を選択

<食事、補食の内容>

カテゴリー		内容
食事	主食	<p>白米、だし茶漬け ごはんのお供（ふりかけ、梅干し等）</p> <p>選手が無理せずおいしくエネルギー源の「糖質」を食べられるよう工夫。 ごはんに「ほんだし[®]」や「丸鶏がらスープ」を振りかけ、お湯を注ぐだけで作れる “うま味”が効いた「だし茶漬け」は、食欲が無くても食べられます。</p>
	汁物	<p>具だくさん鍋</p> <p>具だくさんの汁物で栄養価UP！うま味でおいしく食べられます。</p> <p>「エネルギー補給」「コンディショニング」の2つの目的に合わせた汁物を提供。 トッピングには、脂質控えめで選手から人気の高い「ForATHLETEギョーザ」を！ こちらも目的に合わせて2パターン用意。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>昼：エネルギー補給 ＜エネルギー豚汁＞</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>夜：リカバー ＜コンディショニングスープ＞</p>  </div> </div> <p>「クノール[®]」スープ各種</p> <p>寒い現地でもすぐに温かい汁物を楽しめるよう、バリエーション豊富に10種類以上用意。</p>
	主菜	照り焼きチキン、サバの煮つけ、肉じゃが等
	副菜	筑前煮、ひじきの五目煮、具だくさん卵の花等
	補食	サプリメント類 「アミノバイタル[®]」製品各種、「グリナ[®]」
その他	飲料 「AGF[®]」コーヒー類 選手がリラックスして試合に臨めるように、数種類のコーヒーを用意。	

*アスリートギョーザ・・・

餃子好きが多い、アスリートの声に応えた開発メニュー。“低脂質で美味しい”に加えて、「エネルギー摂取」と「コンディション調整」の2つの目的に対応。

<エナジーギョーザ®>

試合に必要なエネルギーとして、「炭水化物」がしっかり摂れる。

<コンディショニングギョーザ®>

コンディショニングに必要な「ビタミン類(A・C・E)」が摂れ、カラダを作り、良い状態に保つ為の「たんぱく質」がしっかり摂れる。



<エナジーギョーザ®>



<コンディショニングギョーザ®>

北京2022冬季オリンピックで「G-Road Station」でアスリートをサポートしたVPメンバー



クラハラ・ヒデフミ

栗原 秀文（「ビクトリープロジェクト®」チームリーダー／ディレクター）

1976年、東京都生まれ。プロ野球選手を目指し小学校から大学まで野球を続ける。大学卒業後、1999年に味の素(株)に入社。「アミノバイタル®」部にて2004年より「ビクトリープロジェクト®」を担当。チームを牽引するキーマン。

担当アスリートは、羽生結弦選手（フィギュアスケート）、阿部一二三・詩選手（柔道）、伊藤美誠選手（卓球）、富樫勇樹選手（バスケットボール）、競泳日本代表選手団など多岐に渡ってサポートを展開している。



ニシカワ・ケンイチ

西川 健一（「ビクトリープロジェクト®」ディレクター）

1981年、京都府生まれ。2006年に味の素株式会社に入社。営業職を経て2018年より現職。「ビクトリープロジェクト®」に憧れ、社内公募でチームに加わった。以前の職場では、外食、家庭用、eコマースなど様々な分野の営業職を経験し、そこで鍛えられたコミュニケーション能力を活かし、サポート団体・選手の厚い信頼を獲得している。



ウエノ・ユウキ

上野 祐輝（「ビクトリープロジェクト®」ディレクター）

1985年、東京生まれ。大学卒業後、2008年に味の素株式会社に入社。営業職を経て2016年より現職。担当する競技のトップアスリートへのサポートはもちろん、「ビクトリープロジェクト®」を通じて、スポーツを楽しむ人すべてに「栄養の大切さ」を伝えていきたいと考えている。

「ビクトリープロジェクト®」オンラインプレスルーム 2021年12月開設

このたび、「ビクトリープロジェクト®」のこれまでの活動および今季の活動や選手の最新の動向についてメディアの方にお伝えする「ビクトリープロジェクト®」オンラインプレスルーム（www.pr-today.net/a00459）を開設いたしました。ぜひご覧ください。



※ オンラインプレスルーム内の資料に関するメディアでの掲載等について事前にアプルーバルが必要な場合がありますので、必ず下記までお問い合わせいただきますようよろしくお願いいたします。

味の素「ビクトリープロジェクト®」PR 事務局（株式会社共同ピーアール内）
担当：三井（080-8072-4457）・伊藤（080-5157-1205）・奥平
TEL:03-6260-4857 MAIL: victoryproject-pr@kyodo-pr.co.jp